

# 広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業

<圏域内の市町が抱える地域課題や大学・高校等に期待する取組>

区分	テーマ	地域課題の概要
◎観光資源の共同開発・PR	体験型修学旅行の受入拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単独市町で体験から宿泊まで受け入れることが困難であるため、複数市町で連携して受け入れるツアーを造成していく必要がある。</li> <li>・圏域内の豊富な地域資源を生かした、広島広域都市圏ならではの体験プログラムを新たに開発していく必要がある。</li> <li>・民泊を受け入れている地域では、高齢化等による受入先の減少が課題となっている。</li> </ul>

市町名	大学・高校等に期待する取組
三原市	単独ではなく、圏域市町と連携して修学旅行生を受け入れることのできるツアーの造成について検討していただきたい。
三次市	農家民宿を運営する事業者は高齢化が進み、受入が困難になりつつある現状がある。体験型修学旅行の受入を積極的には行っていないが、体験と宿泊をセットにしたプログラムの開発は、引き続き行っていくことを考えている。造成したプログラムの評価を行うためのモニターツアーへの参加や検証、学生の視点からの提言を期待する。また、顧客層である大学生には、周知活動にも協力していただきたい。
江田島市	本市にしかない宿泊を含めた体験メニューを大学生の視点から造成していただきたい。若者が「体験したい」と思えるような民泊の魅力発掘やPR方法を検討していただきたい。
安芸太田町	当町の体験型修学旅行受入において、人口減少、高齢化等による民泊受入先の減少は長年の課題であり、民泊を伴う受入者数の拡大は困難となっている。そのため、民泊を伴わない日帰り体験者の拡大を強化し、当町ならではの自然資源等を生かした体験プログラムやSDGsプログラムの開発を検討していただきたい。
世羅町	広島市内の大学生等による修学旅行生とのアテンド対応を、広島市内から遠方の自治体でも実施することを検討していただきたい。
岩国市	民泊の受入れが難しいため、日中交流プランや、他の広域都市圏の連携市町に宿泊するツアー行程の企画を検討していただきたい。
上関町	体験型修学旅行の受入拡充のために、豊かな自然等の地域資源を生かし、広島広域都市圏ならではの新たな体験プログラムを検討していただきたい。
浜田市	受入先と希望団体等との連絡・調整の窓口となる人材を継続的に確保するための仕組みづくりについて検討していただきたい。
出雲市	現在、体験型修学旅行の受入れは限られている状況にあります。そこで、出雲市と広島市の地域資源を最大限に活用し、学生がフィールドワークなどを通じて学べる体験プログラムを検討し、提案、モデル実施していただきたいと考えています。このプログラムは、地域の魅力を直接感じながら学ぶ機会を提供することを目的としています。また、プログラムを造成しただけでは不十分なため、SNSを効果的に活用し、体験プログラムの魅力を発信することで、広報活動の強化も合わせて検討していただきたい。
飯南町	飯南町は西日本有数の豪雪地帯であり、その雪資源を活用した琴引フォレストパークスキー場は人工造雪(降雪)機も有し、仮に自然雪が降らない状況でもスキーが楽しめますが、近年は修学旅行での団体利用が減少傾向にある。学生・学校のニーズも多様化しており、従来のスキーのみの修学旅行は今後も減少していくものと思われる。については、近隣構成自治体とのタイアップも組み入れ「スキー+〇〇」といったバリエーションを持たせ、修学旅行先としての魅力度アップを図りつつ、学生・学校に響くプランを提案していただきたい。課題となる事項や魅力に欠ける点など、マイナス要素も併せてご指摘いただき参考としたい。